

# 卒園児の保護者の声

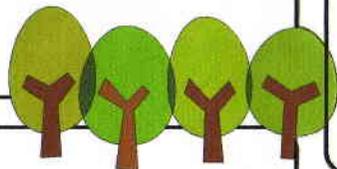


先生方が園児一人ひとりの個性をよく見きわめてくださって対応して  
いていただけるので、心から安心して親子で通うことができました。

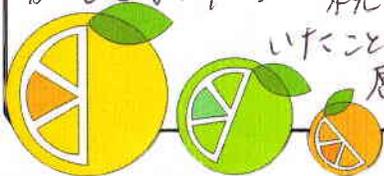
母親の学びでは、子育てでせまくていろいろな視野も、聖書のお話しやお祈りするところを通じてぐっと広がっていただけたように思います。

1年間だけしか通えなかったのも本当に残念だと親子で思う位。  
「ひかりの子」は素晴らしいところでした。

(2004・2007年度卒)

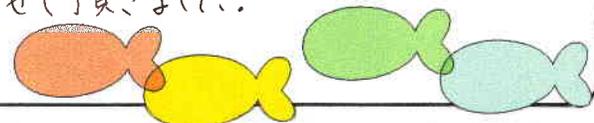


優しく穏やかな先生方に囲まれ、お友達とのびのびと楽しい時間を過ごしていました。賛美やお祈りも見よう見まねで子供たちと一緒に出来た事は、神様がいつも守ってくださるという安心感につながっていきよりに思います。  
また、母親の子育ての学びでは聖書のお話を聞き、自然とリラックスし、お迎えの時に新たな気持ちで子供に接することができました。続けて日曜日に幼稚園科に行かせていただけたことが、子供たちや私にとって神様の愛を感じる大きな恵みとなったので、本当に感謝しています。(2004・2007年卒園児母)



4つ上のお姉ちゃんが小学校に通う姿をうらやましそうに見て  
いましたが、ひかりの子に入園して自分の場所ができてもうれしそうに  
生き生きと通っていました。自分の好きな遊びや家ではできない遊びを  
友だちと一緒に思いきり楽しみ、お迎えの時はとても満足げな表情  
でした。初めての集団生活、優しい先生方に見守られ、親子共に  
とても充実した時を過ごすことができました。

2005年度卒



三人三様の兄弟達を、ありのままに受け入れ、のびのび遊ばせて  
いただいたことを何より感謝しています。

上の子は、「夜までひかりの子があればいいのに!」という程、  
園が大好きでした。

また、まん中の子は、在園中に下の子が生まれ、家ではどうしても  
赤ちゃん中心の生活となりましたが、ひかりの子には自分の世界  
があった事で、ストレスも発散できてとてもよかったです。

1996年度、1998年度、2002年度卒

「ひかりの子教室」への登園は泣きべその日々。愛いばいの  
先生方に抱きかかえられ、過ごした「3才思い出の学び舎」。  
娘は「よく来たね、あいするひかりの子」と迎えられ、「安心して  
いってらっしゃい、あいするひかりの子」と送り出されて早  
8才。現在「沢山の愛」をもらった場所は、セカンド  
ハウスとなりました。母娘共々、「慈み深い神の愛」  
に触れさせて頂いたことを心から感謝します。(2006年度卒)

